

2025年度第2回町田市子どもセンターまあち 運営委員会 会議録

日 時 2025年10月20日 18時30分から19時30分
会 場 子どもセンターまあち 1階 ホール
出席者 委員13名、職員5名

1. 挨拶

- 運営委員長
早いものでまあちは開館して 10 周年を迎えることになる。子ども委員が中心になって、10 周年に向けていろんな企画を計画していると聞いていて、楽しみにしている。まあちは非常に多くの利用があり、居場所としていろんな場面で耳に入ってくる。
- 児童青少年課長
まあちは多くの方で賑わっていて、この規模の児童館が中心市街地にあるのがめずらしく、10 年経って町田市の顔の一つと言えるような施設になってきたと思う。うたごえはミルフィーユというアニメの背景に使われ、キャンペーンも行われている。カフェの事業者がなかなか見つからないため 10 月からキッチンカーの導入を試行している。

2. 議事

(1) 利用者の状況

① 利用者数について

添付資料1参照

(職員)

毎日たくさんの子どもたちが来館しているが、特に週末は家族連れや友人と来館や、少し遠くからくる子もいるのがまあちの特徴で、長時間滞在する方も多い。2024 年度と 2025 年度の利用者数を比較すると、横ばいの傾向が見られるが、中高生の割合が約 3,000 人、20%くらい増加している。バンドの練習や自習をしたり、中高生たちが主体的に計画を立てて実現する参画事業を行っていたりすることが、中高生の利用が増えた要因だと考えられる。集団の中に入れない子たちもいるので、集団での利用だけでなく個々で遊びに来ても居心地の良い場所を作りたいと思っている。

② 子どもたちの様子

(職員)

利用者が増えたことで靴の取り間違えや、忘れ物、落とし物がとても多い。また、ベビーカーを置きっぱなしにして取りに来なかったり、スーツケースを置いて行かれたりしたことがある。忘れ物や靴の取り間違えに気を付けるよう放送で周知したり、靴袋を用意したりしているが、何か良い対策はできないか。いろんな方たちに利用していただいているが、そ

ういう問題が出てきている。

【意見】

(委員)

靴の取り間違えは、何かに挟んで番号を付けて止めておくことで改善するのではないかと思う。

(2)まあち10バースデーに向けて『10チャレ』について

添付資料2参照

(子ども委員)

まあちは来年10周年を迎えるが、子ども委員のみんなでいろいろなことにチャレンジしたいという声があがった。そういう声をまあちの職員が『10チャレ』という企画してくれた。『10チャレ』とはまあち10周年企画の略称です。まあちのおたよりや掲示などで企画の募集をし、現在3つの企画が実行済みとなった。そのうち「まあち総選挙」と「オリジナルうちわ工作 in 小田急百貨店」は、子ども委員会の小中学生が企画・実施をした。現在4つの企画が進行中である。

(職員)

まあちママの会 MAMAMO が企画したプチ夏祭りには当日たくさんの方に来ていただき、盛況だった。今後は桜美林大学合唱寸劇企画の「水戸黄門」や町田高校軽音学部企画の「X'mas Live」を実施予定。その他の企画は現在調整中。子どもたちが自分たちでやってみたいことをまあちで実現するのはハードルが高いかもしれないが、みんなで楽しみながら10周年に向けて思いを馳せていけたらと思っている。10個目のチャレンジとして10周年の記念イベント「まあち10バースデー」を予定している。

(子ども委員)

来年4月に実施予定の10周年記念イベントについて、子ども委員会で今後企画を行っていく。来年も地域の皆様にご協力いただき、盛大にお祝い出来たら嬉しいと考えている。日程については、開館日に近い4月26日日曜日を候補日として考えている。

【意見】

(委員)

次の運営委員会で決定では遅いのではないか。皆様異論がなければ4月26日に焦点をあわせるということでどうでしょうか。

→異論なし。4月26日日曜日実施の方向で子ども委員会で検討していく。

(3)事業報告について

添付資料3参照

(職員)

子ども委員会の現状として、高校生の活動が難しくなっており、小中学生がメインの活動になってきている。中学生数名が核となって活動しているが、中学生の負担が大きくな

ってしまうのではないかと懸念される。現在20名程子ども委員会に登録されているなかで、毎回活動に来てくれる子が10名前後となっている。新規メンバー獲得に向けて動いているが、子どもたちも部活動や習い事などで忙しく、なかなか参加出来ないというところが課題となっている。イベントなどを通じて子ども委員会を知ってもらい、興味を持つてもらえるような工夫をして、子ども委員会の子どもたちと協力して進めていきたいと考えている。

近隣町内会や子ども会等の地域との連携はあるが、企業との連携は少なかったので、民間とのコラボをやっていき、子ども委員会の活躍できる場所をつくっていきたい。

【質問・意見】

(委員)

小田急百貨店の出店は小田急から依頼があったのか。当日の様子はどうだったか。

(職員)

小田急百貨店が来年50周年を迎えるにあたり、色々なところと連携したいということで参加依頼があった。イベント当日は親子での参加が多く、開始前に10人位並んでいて、工作の時間が始まってからは常に20人位並ぶほど盛況だった。

夏休み期間中にはまちのほかに、パン屋さんや百円ショップなどが様々なワークショップを行っていた。

(委員)

不登校の子はどの程度来館しているか。

(職員)

平日の午前中の来館はあまりないが、学校が終わるくらいの時間に合わせて来る子はある。学校に行っている子はそのことを受け入れて過ごしている。学校との連携は取っている。

(委員)

世の中全体で不登校の子が増えているが、町田第一小学校は少なくなってきた。

(職員)

いろんなところに行ける居場所を町田市は多く作っていると思う。自分が行ける場所を自分で選ぶということで良いと思う。

3. その他ご意見等

(委員)

11月8日に南大谷フェスタが開催される。高齢者や子ども施設、民生委員が一緒になってイベントで多世代交流が出来たらと思うので、ぜひ足を運んでいただきたい。

(委員)

インフルエンザが流行っていて、学級閉鎖が起きている。

以上

- ・ 今年度の運営委員会の予定

第3回運営委員会 2026年2月16日(月) 午後6時30分から